

2011年
11月15日発行
第61号

北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町1-4-9 山本ビル207号 TEL 921-0747 FAX 921-0284
ホームページアドレス http://www.geocities.jp/k_roren/ Eメールアドレス k_roren@ybb.ne.jp

さよなら原発！ 1万5千人結集 九州各県から学者や僧侶、文化人も



がんばった。私も成長した。みんな団結した。
次の世代へつなげる闘いになったと思います。
大きな支援に感謝します。長峰誠治

「さよなら原発！福岡1万人集会は、みなさんのおかげで大成功しました。ほんとうにありがとうございます。今日集まった人それぞれが感じたものを大切に、「さよなら原発！」の実現にむけて明日からまた頑張りましょう。」（実行委員会ホームページより。）
会場正面を埋め尽くした参加者、会場入口で貰ったビラは20数種にも及びました。出店は58店舗。
1時の開会前から沖繩のエイサーやシンポジウムなどがあり集会は各種団体の旗や、個人のプラカードなどがひしめく中盛り上がりしました。
デモ行進は3コースに分かれサウンドと共にシユプレヒコールが響き渡りました。（写真は堀田事務局長）



11月9日午後6時30分より戸畑生涯学習センターで「定温共闘、支援する会総括終結集会」が開かれました。集会は入江建交労北九州支部長の司会で開会。主催者挨拶で中山議長、来賓挨拶は県労連土井副議長、日本共産党から高瀬元県議、定温共闘報告、会計報告、支援する会報告、会計報告、弁護団報告、国民救援会挨拶、建交労県本部報告、嶋争議団長挨拶、三輪俊和先生、前田先生の勝利報告、争議組合からイワキ工業の仲間が訴えました。分会の仲間は長峰さん、金澤さんが挨拶しました。最後に中山議長の音頭で「団結がんばろう」をして6年の闘いを閉じました。参加者は60人余でした。挨拶や報告ではどの方も未来につながる青年の闘いだから、支援せざるを得ない気持ちになったと述べられました。その結果、北九州ではかつてない闘いの広がりを見せました。署名、傍聴参加者、集会参加者、支援カンパなどの面においても前進を切り開きました。みなさん、永い間の闘いご苦労さまでした。

雨あがり

今年も早いもので11月となりました。この季節の言葉について少し調べてみました。
立冬（りっとう）とは、11月7日は二十四節気の一つ立冬に当たり、この日から暦の上では立春前日（節分の日）まで冬になり、この頃から冬の気配が現れてきて、北国や山々からは初雪の便りも届く時節だそうです。朝夕もめっきりと寒くなります。冬の北風も吹き始め、同じ季節には「冬立つ」「冬に入る」「冬来る」があるそうです。
小春日和（こはるびより）とは、11月の初冬は寒くなり冷たい北風が吹きますが、大陸高気圧が移動して風も弱まり、穏やかでまるで春のように暖かい晴天の日が訪れます。
この日を小春日和と言うそうです。
秋の柔らかな日差しが心地良く感じられ、紅葉を見ながらの散歩やハイキングにはお勧めの天候ですが、夕方からは放射冷却が始まって、ぐんと冷え込み寒さが強まり日中の薄着では寒く感じれます。
同じ季節で北米ではインディア・サマーと言うそうです。
小雪（しょうせつ）とは、11月の22日は二十四節気の一つの小雪に当たります。
立冬の後の15日目、「小」は寒さはまだ厳しくなく、わずかながら雪が降り始めるようになる頃です。
雪国からは雪便りが届き、東京周辺でも霜が見られ始めます。北風が吹いて冬の到来を実感させます。
今年も残るところ約1か月ですが、健康には充分気をつけていきたいですね！

北九州地区労連(裏面)

自由ヶ丘高校・前田先生職場復帰 おめでとうございませす

11月1日(火)、自由ヶ丘高校の前田先生は教壇復帰しました。

この日、朝早く8時前から、「井上・前田先生を自由ヶ丘高校の教壇に戻す会」、私教連、北九州地区労連、国民救援会などから10名の支援者が集まり、前田先生に激励の声を掛け、教壇復帰を祝いました。

これまで、「ご支援をいただいた」、「戻す会」会員、裁判傍聴や集会参加などの支援者、私教連、北九州地区労連、私学退職教職員の会の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

この日に先立つ、10月29日(土)、自由ヶ丘高教組・私教連と福原学園との第1回団体交渉があり、学園側は、「11月1日付で、前田先生を原職に復帰させる。」「原職復帰の条件については「前田先生の希望・意向の方向で校長と調整する。」と回答。11月1日、前田先生と自由ヶ丘高校福田校長の話し合いで、所属する学年、副担任、校務分掌、職員室での座席、3学期における課外・講座、小論文指導などの進路指導、4月からの正規の「国語」の授業等について、合意しました。



本当にありがとうございました
前田 光子

11月1日多くの方々の「職場復帰、おめでとう」の声に背中を押していただき3年8ヶ月ぶりに校門をくぐりました。

見事な秋晴れが広がっている空を見上げながら校舎へと続く坂道を登っていきました。「ああ、私は本当に勝ったんだ。」解雇から今まで私の目に映る景色には色がありませんで

した。本当は色々な色があるはずなのに、私の目にはまるで荒野のような景色しか見えませんでした。今日はしっかりと空はどこまでも青く木々の葉は色鮮やかに紅葉していました。感無量。職員室で福田校長に紹介され、「私がこうしてこの場所に立っているのは、卒業生、保護者、全国の教職員の皆様、働く仲間のおかげです。」と挨拶。

高校管理職、学園本部職員のご配慮で、スムーズに職場に入って行けました。最初は遠巻きに見ていた教職員の方々も時間の経過とともに徐々に声



支援者にお礼の挨拶をし、出勤する前田先生



自由ヶ丘高校正門前で支援者に囲まれる前田先生

を掛けに来てくれました。なんととても一番うれしかったのは、放課後、清掃時間に担当生徒とともに校舎を清掃したときでした。初めて出合った先生に目をキラキラ輝かせながら色々質問してくる生徒たち。私はやっぱり生徒たちとともにいるときが一番幸せです。

皆様、長い長い闘いでしたが、いつもそばにいてくださって、ともに闘ってくださって本当にありがとうございました。おかげさまで、今日の日をむかえることができました。

秋年闘要求の前進を

めざす10・21日行動

北九州地区労連は、10月21日、秋年闘要求の前進をめざし一日行動を取り組みました。行動の目的は、「2011年秋のたまたかいは、すべての労働者の雇用の安定と賃金底上げとあわせ、国家公務員賃金引下げ法案の撤回を求めるとともに、地方公務員や関連労働者への賃下げの波及や民間企業での「便乗賃下げ」を許さない官民一体の取り組みを強める。」ことなどなど4つの課題を目的に掲げ取り組みました。

雨の中早朝宣伝を黒崎、西小倉、戸畑、門司各駅で行い9時30分より市職労本部で意思統一を行い、11時10分より行政への申し入れをし、その後2班に別れて・自由ヶ丘高校への争議解決に向けた申し入れ・イワキ工業の顧問弁護士への要請行動を行いました。

この行動に早朝宣伝行動を含め60人が参加しました。

これからの行事日程

- 11月19日 住宅リフォーム宣伝行動
- 11月23日 福岡県人権問題研究集会
- 11月25日 労健連定期大会
- 11月26日 日航支援福岡県決起集会
- 11月27日 北九州追悼会
- 11月29日 北九州地区労連四役会議
- 11月30日 非正規問題懇談会
- 12月2日 北九春闘共闘事務局会議
- 12月6日 労働相談ホットライン
- 12月6日 北九州地区労連幹事会
- 12月7日 北九州地区国公定期大会
- 12月14日 原発問題学習会